

対象者 13名

よよぎ 松山校

実施時期 令和5年 10月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12	1		利用者人数に対して適切な広さを確保できている。訓練室で利用者が好きな活動内容が分かれた際にはスペース確保には工夫が必要である。
	2	職員の配置数は適切であるか	10	2	1	国の基準を満たしたうえで、加配配置、専門的支援のための職員も配置して日々支援を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	6		事業所によるビル自体のバリアフリーは難しい。エレベーターの設置ができないため、階段の昇降時には指導員が付き添い、事故防止等に努めている。室内は昨年度壁の撤去を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	11	2		支援内容に関しては、利用者一人ひとりに個別の月目標を定めており、各担当が実行するための詳細なプラン、準備等を行っている。チェックについては担当のみでの評価が難しいケースもあり、改善につなげるための職員全体での話し合いや評価の場を設けるための時間確保が課題である。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11	2		毎年アンケート実施後に職員で集計結果を基にした会議を行い改善すべき点を明確にしている。また早急に改善すべきことについては担当を決めて対応するように努めており、児発管、管理者が随時確認を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	5	(未記入2名)	法人ホームページに掲載している。集計結果は各家庭に紙媒体で配布も行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	10	1	虐待防止委員会等での第三者委員の選出は行っているが外部評価を実施したことはないため、今後検討する。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	2		講習会や子ども部会に参加し意見交換等を行っている。内部研修、外部研修ともに年間スケジュールで計画し、職員が受講する、職員間で内容を共有する機会を設けている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	2		アセスメントシートを作成し、適宜使用しながら計画を作成している。また本人のニーズと保護者のニーズを適切に把握し、必要な支援に結び付けられるよう計画を立てている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13			アセスメントツールとして表を作成し、日々の支援中で子どもの行動等を記録して使用している。コミュニケーションを十分に取り、信頼関係を気づきながら情報収集に努めている。
	11	活動内容の立案をチームで行っているか	13			イベント等においてはチームで担当し、立案を行っている。月の行事の中では主担当を決めたうえで、他職員と協力し、その日の利用児童に合わせて内容等の調整や準備を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12	1		毎月季節のイベントや、クッキング、工作、集団活動など様々な活動プログラムを準備している。長期休み中には利用曜日によって偏りが出ないように調整し、様々な経験ができるよう配慮している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	12		1	各担当指導員が個別で課題を毎日用意している。前回の様子等を分析し、配慮が必要な点、より効果的な支援になるよう改善を行っている。支援方法については随時職員で話し合っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	13			利用者のその日の様子に応じて、個別活動や集団活動の内容を変更できるよう工夫し、柔軟な対応ができるよう準備している。計画書には集団活動、個別の活動をそれぞれに課題を設けて計画している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	1		朝礼時には活動内容やタイムスケジュールの確認を行っている。各担当から個別の課題についての確認、その日の主担当から一日のスケジュール等の確認を朝礼時に行い、ホワイトボードに記入し、午後からの出勤の職員への共有・確認も行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	5		送迎終了後に、全職員でまとまった時間の確保が難しいこともあるが、支援経過を記録する際に職員間で情報共有や、活動の振り返りを行っている。翌日の朝礼時に改めて振り返りを行い、当日の支援に生かせるよう努めている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	3		支援終了後に、支援経過を記録している。担当した指導員の情報と他職員の情報を確認して記録している。また朝礼時に記録等を共有し、改善すべき点等についても話し合いを行っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	2	1	毎月モニタリングを行っている。半年分のモニタリングを基にサービス計画の見直しを行い、支援目標、内容変更の必要性について判断をしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	12		1	集団活動では、工作、クッキング、運動、コミュニケーション活動、戸外活動や、地域イベントへの参加等さまざまな経験を提供できるように組み合わせている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	3		当施設の児童発達支援管理責任者、担当指導員が同席可能であれば参画している。また他事業所も参加しての会議等では場所の提供等も行っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11	1	1	保護者、または学校から年間計画、週のお知らせ等配布物をいただき、下校時刻や行事の把握に努めている。またメール等でも確認を行い、必要に応じて電話での確認や、来所の報告等も行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	7	1	これまで医療的ケアが必要な子どもを受け入れたケース、今後も受け入れの予定は決まっていないが、心疾患等で配慮が必要な場合に関しては、対応マニュアルを作成し、AED使用等に関する内容は主治医等の確認を行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	6	1	書面での確認など、適切に情報共有できている。これまでコロナ渦であったこともあり、訪問しての情報共有を行ったことはないが、今後は実際に園を訪問しての相互理解に努めることも検討する。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	9		いつでも提供できるよう準備を整えているが、現段階では情報提供の依頼に結びつくケースがない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	3	1	地域従事者の実習等にも参加している。利用者の特性に応じた支援内容についても助言を求めるように努めている。専門機関での療育を受けている利用者の方においては、情報共有や施設での取り組み方についてお尋ねするようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	6	4	コロナ禍で難しい部分が多かったため、つながりが少ないのが現状ではあるが、積極的に機会を設けていきたいと考えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	6	2	協議会に参加させていただいており、子ども部会においても交流会等にも参加し、連携を図る機会をいただいている。また他事業所との情報共有の場がある連絡ツールにも参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	1	1	送迎時の保護者お迎えの際には、お子さんの様子を伝えるように努めている。電話やofficialLINE等も使用して、相互にお子さんに関する情報を共有しながら支援を行うよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	8	4	親子イベントの開催を執り行っている。家庭でも取り組める内容を紹介するなど、親子でのふれあいの機会となるよう設定している。また個別相談も受けており、その都度必要な情報を提供できるよう準備している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	4		契約時に書面と一緒に確認してもらいながら、説明を行うようにしている。支援の内容や、支援経過については毎月書面にて各家庭に配布し、随時質問等を受け付けている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	4		保護者から相談の依頼があれば適切に対応している。必要に応じて担当者会議等の開催も行い、支援の方法について検討、その他に受けられる支援サービスについても紹介している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	7	2	機会を設けていないが、今後親子イベント等において任意ではあるが保護者の方同士で話すことができる場を提供できるよう検討したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1		苦情窓口を設置し、速やかに事実確認、原因究明等の対応ができるよう整備している。また各公共機関等の連携を図り再発防止に関する対策等も記録として残し、子どもや保護者への周知も速やかに行えるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	2		officialLINEを活用して月行事予定等を配信している。Instagramでは非公開形式で活動内容の様子を写真や動画をコメントを添えて掲載している。
	35	個人情報に十分注意しているか	13			契約時に個人情報に関する同意書や、Instagram、HPの掲載に伴う確認書を作成し同意を得ている。紛失、流失を防ぐためのルールを職員間で取り決めている。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	1		なるべく口頭での連絡等ではなく、文面やLINE等で確認を行い、記録として残せるように配慮し、双方に確認しやすい環境作りに努めている。また重要な事柄については対面や電話で再確認を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	8	2	これまでコロナ禍であったこともあり、実際に行ったケースはないが今後イベント等を検討していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	12	1		各種マニュアルの作成、改定を行い、法人単位での研修・訓練等を行っている。またマニュアルをホームページにも掲載している。職員でマニュアルを再度確認し、いつでも動けるよう心掛けたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	4		火災、風水害、地震、不審者に対する防犯・防災避難訓練等を定期的に行っている。中央消防署へも年に一度訪問し、消火訓練等にも参加している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	3		年に2回の法人内研修に参加しており、虐待防止委員会の活動も随時行っている。これまで外部の研修会等にも参加し、事業所内での共有等も行っている。また職員のストレスチェックや、心身の体調等の確認にも努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	3		サービス計画書に明記し、説明時には具体的な場面等を伝え、了承をもらっている。また身体拘束適正化委員会を設置し、委員会活動の中で、身体拘束についての条件や流れ、遵守すべき項目について確認を行っている。法人内研修を随時行い、職員への周知、保護者に伝えるべき内容等についても確認している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	3		医師の診断書の取得が必要な児童のケースはこれまでにないが、食物アレルギーに関する情報は、事業所内に二か所表記し、クッキング等では十分に留意している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	1	1	ヒヤリハットがあった際には、業務日誌にも記録し、ヒヤリハットの書類を作成後、閲覧した職員の名前を確認し、児発管と管理者が職員間で共有できたことを確認して捺印するようにしている。